

# ねじり定演

鎌倉市制施行記念フェスティバル

市の塔贈

48年 11月3日 (土) (1973)

鎌倉市中央公民館

ご あ い さ つ

鎌倉市長 正 木 千 冬

鎌倉市制記念フェスティバルの開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

生活の中から生まれた良い音楽は、多くの人々に愛されはぐくまれてきました。音楽は文化的で平和な社会を作るために、非常に大切であると思います。

この文化都市鎌倉でも、鎌倉交響楽団の方々をはじめとし、音楽活動が盛んです。

今回は、市制三十四周年を記念し、鎌倉交響楽団の方々に演奏をお願いしました。

この鎌倉交響楽団は、結成以来、十数年の伝統を誇り、「鎌響」と呼ばれ多くの方々から親しまれてまいりました。

どうか皆さん、「鎌響」の演奏を心ゆくまでお聞きいただき、これからもより一層音楽に親しんでください。

鎌倉交響楽団第22回定期演奏会

主催 鎌倉交響楽団

鎌倉市

後援 鎌倉音楽クラブ

曲 目

- 1 序曲 フィンガルの洞くつ op、26：メンデルスゾーン

指揮 吉水洋

- 2 ピアノ協奏曲 イ短調 op、16：グリーク

指揮 吉水洋

ピアノ独奏 富沢民子

第1楽章 アレグロ モルト モデラート

第2楽章 アダージョ

第3楽章 アレグロ モデラート モルト マルカート

休 憩

- 3 交響曲第4番ホ短調 op、98：ブラームス

指揮 前田幸市郎

第1楽章 アレグロ ノン トロッポ

第2楽章 アンダンテ モデラート

第3楽章 アレグロ ジョコーゾ

第4楽章 アレグロ エネルジコ パシヨネート

1973年11月3日(土)3:00PM

鎌倉市中央公民館

## ピアニスト紹介

鎌倉市寺分 830-29

富沢民子

5歳よりピアノを始め、昭和36年田村宏氏に師事、昭和45年東京芸術大学ピアノ科卒業、昭和47年クライス・カナガワ定期演奏会出演、同年渡欧ウィーン国立音楽アカデミーの夏期セミナーに参加、ディヒラー教授に師事、47年神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演、他に京都大学交響楽団・群馬交響楽団等との協演の経歴を有する。現在フェリス女学院音楽科講師。

### 曲目解説

0 序曲「フィンガルの洞くつ」 Op 26

1929年20歳の青年メンデルスゾーンは、スコットランドのヘブリデス群島を旅行し、その時の印象を音で書き綴り、この名曲を完成しました。

「フィンガルの洞くつ」というのは、ヘブリデス群島のスタッファ島南岸にある玄武岩と鍾乳石でできた巨大な景観です。この附近は特にすぐれた風景の連続で、北海の岩を噛む波頭の白く泡立つありさま、飛び交う海鳥たち、島々の間を進んで行く船、何もかも多感な青年メンデルスゾーンに深い感銘を与えました。海洋を描写した音楽作品としては、リムスキー=コルサコフの「シェヘラザード」やワグナーの「さまよえるオランダ人」序曲とともにこの曲は非常に高く評価されています。メンデルスゾーンは13年後の1842年交響曲スコットランドを発表したが、この作品も若い時の印象に基いている。しかしこちらは山岳を主とした風景のようである。

0 グリーク：ピアノ協奏曲イ短調 Op 16

1868年25歳の青年音楽家グリークがデンマークの小村セラレードで完成した曲で、初演は1870年にデンマークのクリスチニア市で行なわれた。グリークはノルウェー人であるが、ドイツで勉強したあと、デンマークに来たのである。従ってこの曲はシューマンなどドイツ・ロマン派の手法と北欧人の感覚とがブレンドされたもので初演以来今日まで若い音楽愛好者、ピアニスト達に熱烈に愛好されて来た。

日本のピアニストでは館野泉がフィンランドでこれをレコーディングしており、氏は「この曲は前から好きだったが、こうして北欧で暮らしてみると一層この曲が気に入ってしまい、とうとうレコードに録音してしまった。」という意味のことを『音楽の友』最近号に書いている。

ショパン、チャイコフスキー、ラフマニノフの有名なピアノ協奏曲とともに、人々に最も愛好される曲でありグリークの代表作でもある。

0 ブラームス：第4交響曲 Op 98

これはまったく老境に入ってからブラームスの最後の交響曲であって、第1交響曲の悲愴味み第2番の幸福感・第3の男性的な英雄性などとは趣を異にして描き出している。あらゆる情熱と闘争から遠ざかり、超然たる風格を保ちながら瞑想的で北欧の叙事詩的な面に神秘さとバラード風の幻想をくりひろげる。なお、その形式的な面においても随所に模声法や複対位法的な転回やあるいは古い教会調などを応用して古めかしくも典雅な趣をかもし出しているうえ、終楽章にはパッサカリアというシャコンヌの一種を用いて渋い味を一段と強化している。ブラームス自身手紙の中で、これは甘くない桜んぼであると述べているが、チョコレートでもワインでも通人はあまり甘ったるくないものを賞味するから、たまにはこんな曲も精神衛生上良いかも知れない。

鎌倉交響楽団メンバー

名誉指揮者 東 清 蔵

常任指揮者 前 田 幸市郎

吉 水 洋

(順不同)

Violins	徳 永 信 子 鈴 木 久 仁 子 宇 田 綾 子
	土 井 利 章 永 江 正 臣 服 部 美 知 子
	長 峯 忠 雄 桐 本 圭 三 橘 田 武 子
	関 川 健 大 溝 口 百 合 武 田 由 子
	原 沢 哲 也 辻 本 博 司 丸 山 寿 一
	相 丹 下 慶 子 清 水 潤 一 清 水 謙 二
	小 柴 順 子 汪 子 松 平 定 康 薬 師 寺 厚
Violas	阿 部 黎 子 村 浅 生 部 甚 蔵 前 田 幸 康
	吉 村 将 竜 作 章 服 佐 藤 元 一 文 珠 川 健
Violoncellos	伊 沢 竜 之 郎 服 佐 松 長 谷 恭 男 栗 山 明 子
	浄 法 寺 靖 之 郎 土 井 利 紀 沢 田 五 十 二
Double Basses	大 内 春 樹 萩 野 牧 子 沢 田 五 十 二
	田 村 秀 夫 菊 升 秀 夫 杉 野 ユ ミ 子 守 也
Flutes	内 田 秀 夫 萩 野 牧 子 沢 田 五 十 二
	杉 野 ユ ミ 子 守 也 河 井 伶 子 山 本 賢 二
Oboes	大 野 守 也 河 井 伶 子 山 本 賢 二
Clari nets	加 藤 哲 博 之 乾 謙 鹿 子 三 栄 入 江 正
	東 博 之 乾 謙 鹿 子 三 栄 入 江 正
Bassoons	山 本 正 剛 黒 岩 貞 雄 山 田 尚 慶
Horns	徳 永 正 剛 黒 岩 貞 雄 山 田 尚 慶
Tru npets	齐 藤 昭 重 松 侑 紀 男 高 松 善 彦
	嶋 中 正 志 夫 重 田 昇 掛 川 忠 良
Tro nb n es	岩 沢 忠 夫 重 田 昇 掛 川 忠 良
	飯 塚 和 之 誠 阿 野 田 仏 小 長 谷 宗 一
Ti n p a n n i & percussion	上 原 信 男 阿 野 田 仏 小 長 谷 宗 一
Asistant Conductor	高 橋 誠 也 矢 崎 彦 太 郎
Stage Ma nager	清 岡 道 男 島 谷 正 俊